



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月5日

上場会社名 カナデビア株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7004 URL <https://www.kanadevia.com/>  
代表者 （役職名）取締役社長兼CEO （氏名）桑原 道  
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 経理部長 （氏名）木村 俊仁 TEL 06-6569-0022  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（報道関係者・証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	424,740	2.7	△4,666	—	△4,963	—	△6,311	—
2025年3月期第3四半期	413,432	11.0	9,746	2.5	5,917	△35.3	5,393	△9.5

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 △8,129百万円（－％） 2025年3月期第3四半期 8,095百万円（22.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△37.52	—
2025年3月期第3四半期	32.04	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	655,217	186,893	27.0
2025年3月期	609,666	197,895	31.1

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 176,653百万円 2025年3月期 189,364百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				25.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	620,000	1.6	13,500	△49.9	13,000	△46.6	5,000	△77.4	29.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

除外 4社 株式会社エイチアンドエフ、H&F SERVICES U.S.A., INC.、H&F Services(Thailand) Co.,Ltd.、H&F EUROPE LIMITED

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (企業結合等に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	170,214,843株	2025年3月期	170,214,843株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,970,878株	2025年3月期	2,026,463株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	168,229,116株	2025年3月期3Q	168,336,574株

(注) 期末自己株式数には、当社の取締役等を対象とする株式報酬制度の導入により採用した役員報酬BIP信託が保有する当社株式 (2026年3月期3Q 271,016株、2025年3月期 329,630株) が含まれております。  
また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会資料の入手方法)

当社は、2026年2月6日に報道関係者・証券アナリスト・機関投資家向けにカンファレンス・コールによる決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(企業結合等に関する注記) .....	10
3. 補足情報 .....	11
(1) 2026年3月期 第3四半期 連結業績補足資料 .....	11
(2) 2026年3月期 連結業績見通し補足資料 .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の経済情勢は、米国の通商政策による影響がみられるものの、緩やかに回復しています。先行きについては、雇用・所得環境が改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されます。ただし、今後の物価動向や米国の通商政策をめぐる動向等の景気を下押しするリスクに留意する必要があります。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要があります。

こうした中で、当社グループでは、2023年度からスタートした中期経営計画「Forward 25」のもと、既存事業の持続的成長、成長事業の創出・拡大、持続可能な経営の推進（企業価値向上）を基本方針として、各種重点施策を鋭意推進しているところです。

以上のような取組みを進める中で、当期の受注高は、脱炭素化部門の増加により、前年同四半期を上回る460,961百万円となりました。また、売上高は、主に環境部門の増加により、前年同四半期を上回る424,740百万円となりました。

損益面では、営業利益は主に環境部門の悪化により、前年同四半期から悪化し、4,666百万円の損失計上となりました。これに伴い、経常損益及び親会社株主に帰属する四半期純損益ともに、それぞれ4,963百万円及び6,311百万円の損失計上となり、前年同四半期から悪化しました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

#### ①環境

海外子会社の売上増加により、売上高は前年同四半期を上回る331,474百万円となりました。一方、高採算案件の減少及び海外子会社の技術トラブルの影響等により、営業利益は前年同四半期から悪化し、678百万円となりました。

#### ②機械・インフラ

プレス事業の売却により、売上高は前年同四半期を下回る46,328百万円となりました。営業損益も、インフラの収益悪化等により、前年同四半期から悪化し2,839百万円の損失計上となりました。

#### ③脱炭素化

プロセス機器の減少により、売上高は前年同四半期を下回る44,958百万円となりました。営業損益も前年同四半期から悪化し、2,851百万円の損失計上となりました。

#### ④その他

売上高は前年同四半期を下回る1,979百万円となり、営業利益も前年同四半期を下回る368百万円となりました。

当社グループの事業の性質上、連結会計年度末に完成する工事の割合が大きく、売上高が連結会計年度末に集中することから、業績は季節的変動が大きくなる傾向があります。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、仕掛品及び有形・無形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べて45,550百万円増加し、655,217百万円となりました。負債の部は、契約負債及び有利子負債の増加等により、前連結会計年度末に比べて56,551百万円増加し、468,323百万円となりました。純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により、前連結会計年度末に比べて11,001百万円減少し、186,893百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、営業利益は、主に海外環境子会社において技術トラブルによる収益悪化が見込まれることから、前回公表の18,000百万円から4,500百万円減少の13,500百万円となる見通しです。経常利益は、持分法による投資利益の増加等があるものの、営業利益の減少により、前回公表の14,000百万円から1,000百万円減少の13,000百万円となる見込みです。また、親会社株主に帰属する当期純利益についても、特別損失の計上により、前回公表の10,000百万円から5,000百万円減少の5,000百万円となる見通しです。

なお、船用エンジン事業及び船用エンジン事業以外の事業に関する不適切行為に関連して、更なる業績への影響が見込まれる場合には、速やかに業績見通しに反映していきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	70,763	68,770
受取手形、売掛金及び契約資産	228,020	232,075
有価証券	1	1
商品及び製品	2,049	3,178
仕掛品	8,261	18,850
原材料及び貯蔵品	12,772	14,459
その他	36,135	46,749
貸倒引当金	△889	△1,467
流動資産合計	357,114	382,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	41,034	31,079
土地	52,414	51,593
その他（純額）	42,612	58,616
有形固定資産合計	136,060	141,290
無形固定資産		
のれん	14,060	15,482
その他	27,158	31,728
無形固定資産合計	41,218	47,210
投資その他の資産		
その他	75,947	84,856
貸倒引当金	△694	△767
投資その他の資産合計	75,252	84,089
固定資産合計	252,532	272,589
繰延資産	20	9
資産合計	609,666	655,217

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,913	42,128
電子記録債務	8,910	7,766
短期借入金	36,396	77,165
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
リース債務	1,661	1,552
未払費用	81,803	81,846
未払法人税等	4,966	3,299
契約負債	40,600	82,804
株式報酬引当金	52	47
品質不適切行為関連費用引当金	1,484	2,075
保証工事引当金	17,394	16,913
工事損失引当金	7,063	7,903
その他	27,034	28,823
流動負債合計	294,283	362,326
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	70,132	68,275
リース債務	7,574	7,797
繰延税金負債	5,820	6,184
退職給付に係る負債	16,468	16,235
役員退職慰労引当金	29	25
訴訟損失引当金	946	896
解体撤去引当金	858	1,073
資産除去債務	1,125	1,128
その他	4,532	4,378
固定負債合計	117,488	105,996
負債合計	411,771	468,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,442	45,442
資本剰余金	7,802	7,802
利益剰余金	118,870	108,345
自己株式	△1,334	△1,284
株主資本合計	170,780	160,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,476	2,208
繰延ヘッジ損益	528	1,488
土地再評価差額金	△20	△20
為替換算調整勘定	2,794	1,029
退職給付に係る調整累計額	13,804	11,642
その他の包括利益累計額合計	18,583	16,347
非支配株主持分	8,530	10,240
純資産合計	197,895	186,893
負債純資産合計	609,666	655,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	413,432	424,740
売上原価	341,393	355,805
売上総利益	72,038	68,935
販売費及び一般管理費	62,292	73,602
営業利益又は営業損失(△)	9,746	△4,666
営業外収益		
受取利息	948	1,065
受取配当金	170	304
持分法による投資利益	—	1,773
為替差益	319	—
その他	936	1,934
営業外収益合計	2,374	5,077
営業外費用		
支払利息	829	1,037
持分法による投資損失	407	—
為替差損	—	2,904
その他	4,965	1,433
営業外費用合計	6,202	5,374
経常利益又は経常損失(△)	5,917	△4,963
特別利益		
受取和解金	2,205	—
事業整理損失引当金戻入額	729	—
特別利益合計	2,934	—
特別損失		
減損損失	—	1,612
品質不適切行為関連費用	—	1,401
解体撤去引当金繰入額	—	214
特別損失合計	—	3,228
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	8,852	△8,192
法人税等	3,330	△1,929
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,522	△6,263
非支配株主に帰属する四半期純利益	128	48
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	5,393	△6,311

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,522	△6,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42	488
繰延ヘッジ損益	△246	975
為替換算調整勘定	△104	△1,322
退職給付に係る調整額	2,892	△2,171
持分法適用会社に対する持分相当額	75	164
その他の包括利益合計	2,573	△1,866
四半期包括利益	8,095	△8,129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,871	△8,547
非支配株主に係る四半期包括利益	223	418



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	環境	機械・ インフラ	脱炭素化	その他	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	305,694	56,133	48,761	2,842	413,432	—	413,432
セグメント間の内部 売上高又は振替高	529	6,828	171	417	7,946	△7,946	—
計	306,224	62,962	48,932	3,260	421,378	△7,946	413,432
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	11,741	△995	△1,454	502	9,792	△46	9,746

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△46百万円は、セグメント間取引消去に関わるものです。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「環境」セグメントにおいて、当社連結子会社であるKanadevia Inova AG. がBabcock & Wilcox Renewable Service A/S (現社名 Kanadevia Inova Denmark A/S)及びIona Capital Ltdの全株式を取得したことにより連結子会社としたことで、のれんを計上しております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結会計期間においてそれぞれ8,174百万円及び7,373百万円となります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	環境	機械・ インフラ	脱炭素化	その他	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	331,474	46,328	44,958	1,979	424,740	—	424,740
セグメント間の内部 売上高又は振替高	312	3,447	45	317	4,123	△4,123	—
計	331,787	49,776	45,003	2,296	428,864	△4,123	424,740
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	678	△2,839	△2,851	368	△4,644	△21	△4,666

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△21百万円は、セグメント間取引消去に関わるものです。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「機械・インフラ」セグメントにおけるカナデビア株式会社向島工場の固定資産について減損の兆候が認められたため、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、1,612百万円の減損損失を計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	9,126百万円	11,078百万円
のれんの償却額	905 "	1,480 "

(企業結合等に関する注記)

(連結子会社の株式譲渡及び一部事業譲渡)

当社は、2025年5月1日付で、当社の連結子会社である株式会社エイチアンドエフ（以下「エイチアンドエフ」）の全発行済株式を株式会社アマダ（以下「アマダ」）に譲渡すること（以下「本件株式譲渡」といいます。）並びに、当社の連結子会社である科納維商貿(上海)有限公司、Kanadevia India Private Limited及び PT. Kanadevia INDONESIAの事業の一部を譲渡すること（以下「本件事業譲渡」といいます。）となりました。これにより、エイチアンドエフ並びに同社の完全子会社である H&F SERVICES U.S.A., INC.、H&F EUROPE LIMITED 及び H&F Services (Thailand) Co., Ltd.、同社の関連会社であるHZF Services (Malaysia) Sdn. Bhd. は、当社の連結子会社及び関連会社から除外しております。

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

株式会社アマダ

(2) 分離した事業の内容

プレス機械、各種自動化装置、制御装置の製造・販売及びアフターサービス及び、エイチアンドエフが製造したプレス機械に関するアフターサービスに付随した業務

(3) 事業分離日

2025年5月1日

(4) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡及び事業譲渡

(5) 本件株式譲渡及び本件事業譲渡の理由

エイチアンドエフは、その前身となる福井機械株式会社が1964年に設立されて当社グループに加わって以降、1999年に当社のプレス事業と統合し現在の「エイチアンドエフ」に商号を変更、自動車用大型プレス機械の製造・アフターサービスを展開し、主に日系自動車会社向けに事業を展開してきました。その間、2006年には株式会社東京証券取引所のJASDAQ(当時)に上場、2017年からは当社の完全子会社として当社グループのプレス事業を担ってきました。近年、自動車のEV化に伴う車体の軽量化等、生産能力の要求レベルが高まる中、今後の更なる環境変化も見据え、成長戦略を加速し、収益性を改善・向上させるためのパートナーシップを模索してきました。その結果、アマダがエイチアンドエフの親会社になることで、アマダグループの保有する中小型プレス機械との補完性や、販売基盤と加工ノウハウ等の活用による事業機会の拡大、経営基盤の強化、更なる企業価値向上が期待できるものと判断し、本件株式譲渡及び本件事業譲渡を行うことを決定いたしました。

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損益の金額

関係会社株式売却益として932百万円計上しております。

(2) 会計処理

「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 2013年9月13日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2024年9月13日）に基づき会計処理をしております。

3. 分離した事業が含まれていた報告セグメント

機械・インフラ

## 3. 補足情報

## (1) 2026年3月期 第3四半期 連結業績補足資料

## ① 連結受注高・受注残高

(単位：億円)

事業セグメント	2024年度 第3四半期累計	2025年度 第3四半期累計	比較	2025年12月末 受注残高
環境	3,594	3,451	△143	16,606
機械・インフラ	630	683	53	840
脱炭素化	220	455	235	866
その他	24	20	△4	5
合計	4,468	4,609	141	18,317

## ② 連結損益計算書

(単位：億円)

		2024年度 第3四半期累計		2025年度 第3四半期累計		比較	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
売上高・営業利益	環境	3,057	117	3,315	7	258	△110
	機械・インフラ	561	△10	463	△28	△98	△18
	脱炭素化	488	△15	449	△28	△39	△13
	その他	28	5	20	3	△8	△2
	合計	4,134	97	4,247	△46	113	△143
営業外損益	金利負担額	3		3		0	
	持分法投資損益	△4		18		22	
	その他	△37		△24		13	
	計	△38		△3		35	
経常利益		59		△49		△108	
特別損益		29		△32		△61	
税金費用・非支配株主帰属利益		△35		18		53	
親会社株主に帰属する四半期純利益		53		△63		△116	

※ 営業利益の「その他」にはセグメント間取引消去に関わるものを含んでおります。

## ③ 連結貸借対照表

(単位：億円)

科目	2025年3月末	2025年12月末	比較
現金及び預金	708	688	△20
受取手形、売掛金及び契約資産	2,280	2,320	40
棚卸資産	231	365	134
有形・無形固定資産	1,773	1,885	112
その他	1,104	1,294	190
資産の部合計	6,096	6,552	456
支払手形及び買掛金	658	499	△159
有利子負債	1,358	1,648	290
その他	2,101	2,536	435
負債の部合計	4,117	4,683	566
株主資本	1,708	1,603	△105
その他の包括利益累計額	186	164	△22
非支配株主持分	85	102	17
純資産の部合計	1,979	1,869	△110
負債・純資産の部合計	6,096	6,552	456

## ④ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

科目	2024年度 第3四半期累計	2025年度 第3四半期累計	比較
営業活動によるキャッシュ・フロー	89	△35	△124
投資活動によるキャッシュ・フロー	△428	△191	237
財務活動によるキャッシュ・フロー	108	238	130
為替換算差額	12	△20	△32
現金及び現金同等物の増加減少額	△219	△8	211
現金及び現金同等物の期首残高	697	687	△10
現金及び現金同等物の期末残高	478	679	201

## (2) 2026年3月期 連結業績見通し補足資料

## ① 連結受注高

(単位：億円)

事業セグメント	2025年度見通し (2025. 11. 6 公表)	2025年度見通し (2026. 2. 5 公表)	比較
環境	5,600	5,720	120
機械・インフラ	670	750	80
脱炭素化	700	700	0
その他	30	30	0
合計	7,000	7,200	200

## ② 連結損益計算書

(単位：億円)

		2025年度見通し (2025. 11. 6 公表)		2025年度見通し (2026. 2. 5 公表)		比較	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
売上高・営業利益	環境	4,760	197	4,780	162	20	△35
	機械・インフラ	690	△19	690	△19	0	0
	脱炭素化	720	0	700	△10	△20	△10
	その他	30	2	30	2	0	0
	合計	6,200	180	6,200	135	0	△45
経常利益		140		130		△10	
親会社株主に帰属する当期純利益		100		50		△50	

※ 営業利益の「その他」にはセグメント間取引消去に関わるものを含んでおります。